

令和3年8月26日

第9回

会 議 録

桑折町教育委員会

## 桑折町教育委員会定例会会議録

- 1 招集日時 令和3年8月26日(木)午後2時00分
- 2 招集場所 桑折町役場大会議室
- 3 出席委員 1番委員 柴田宣広 2番委員 鈴木キヨ子  
3番委員 小野紀章 4番委員 長谷富子
- 4 欠席委員 なし
- 5 出席者 教育長 会田智康  
こども教育課長 長谷部清治  
生涯学習課長 大内健矢
- 6 書記 総務係長 服部亜由美
- 7 開 会 午後2時40分

### 8 教育長挨拶

委員の皆様にはご多忙の中お集まり頂き感謝申し上げます。

また先ほどまでは、1時間20分にわたり、県連主催の教育委員研修会に参加いただいたところであるが、引続きでの定例会の開催ということで、効率的に進めたい。

本日、私からは、コロナ対応についてお話ししたい。

先ほどの研修会でも、コロナ対応が文科省でも大きな課題であるとの話があった。ご承知の通り、8月に入ってから、全国そして県内でも感染が非常に拡大している。県独自の緊急事態宣言の発出により、学校でのコロナ対応警戒レベルを上げるようにとの県教委通知を受け、町でも、8月31日までは、感染リスクの高い学習活動の停止など、感染症対策を徹底するよう、園長校長に対し通知を行ったところである。

8月中旬からは、本県においても、中核市がまん延防止等重点措置の対象となったり、本町においても感染者が発生したりするなど、感染拡大が急激に進んだことから、2学期をどんな形でスタートすべきかの検討が必要となり、8月19日に臨時園長校長会議を開催し、通知の内容に基づいて2学期に臨むことを再確認するとともに、休校についての考え方の共通理解を図った。

まず「ベースシナリオ」としては、予め一斉休校とすることはせず、2学期は予定通り開始して感染症対策を徹底していくことになる。やはり、

子どもたちの学びの保障・成長にとって、「学校に通う」ということは非常に大事なことであるし、また「子どもたちの受け皿」という意味では、家庭にとっても大事である。「予防のための一斉休校」については、文科省でも避けるべきとの見解であることから、行わない。

対策を徹底していても、学校内で感染が発生した場合が、次の段階「バッドシナリオ」になってくる。この場合、保健所の判断によっては、休校を検討せざるを得なくなるものと考えている。保健所の指導の下、必要な範囲・期間を見極めて休校措置を取るということを想定しておく必要がある。

学校において2学期は、9月下旬からは修学旅行、宿泊学習、運動会、その後は学習発表会、文化祭が続き、メインとなる活動が目白押しの学期である。一昨日の定例園長校長会議においては、再度、警戒レベルを上げ、感染症対策を徹底すること、また、学校から家庭へ感染対策協力の呼びかけを行うことについて確認した。さらに健康福祉課においては、ワクチン供給量が少ない中、教職員の優先接種や12歳までの接種への取組みに対応してもらっている。こういった取組みを行いながら、2学期を進めていくことになるが、ワーストシナリオとして、これ以上感染が拡大した場合は、その時その時で適切な対応を考えていかななくてはならない。

生涯学習の方においても同様の考え方に立って、状況を見極めながら、しっかりと対応を行っているところである。

最後に、先ほどの研修会ではGIGAスクール構想をテーマとしていたが、これに関連してひとつ報告をさせていただく。小中学校においては、夏休み中、一人1台タブレットを持ち帰らせ、連絡を取り合う形で使用した。内容としては、健康観察および宿題の進捗確認を3回行うというものだったが、このような形で、いざというときに活用できるように取り組んでいる。

本日の会議は、教育振興基本計画の決定に係る議案1件のほか、「これからの乳幼児保育・教育のあり方に関する町の方針」決定の報告などになる。よろしくご審議賜りたい。

## 9 報 告

### (1) 教育行政報告

こども教育課長から説明

○質疑・意見

なし

### (2) 令和3年度全国学力・学習状況調査とふくしま学力調査の結果について

こども教育課長から説明

○質疑・意見

なし

(3) これからの幼児保育・教育のあり方に関する町の方針について

こども教育課長から説明

○質疑・意見

[柴田委員]

・方針②は、幼稚園についてだいぶ踏み込んだ表現をしている。町立幼稚園の撤退もある、ということも含まれていると読んで良いものか。

[小野委員]

・この政策決定された方針の内容は、問われたら答えても良いものか。

[教育長]

・当然様々な可能性は想定されるが、現時点で決まっていることは、「両方存続し、今後必要な検討をする。」というところまでである。

[こども教育課長]

・方針については決定したことなのでお話しただいて構わない。幼稚園、保育所の職員にも説明をしている。総合計画策定審議会の中でも説明した。9月議会の一般質問でも通告が来ている。

[柴田委員]

・総合計画審議会において、私から総合教育会議における経過を説明申し上げた。

10 議 事

(1) 議案第13号 桑折町教育振興基本計画について

教育長：議案第13号について事務局に説明を求める。

こども教育課長、議案第13号について説明。

教育長：只今の提案に対して、委員お一人ずつから意見、質問等を発言いただきたい。

柴田委員：「15歳のめざす姿」が非常に重要なベースとしてあり、その発展形がこの計画だと認識している。これまでは、教育大綱・重点・15歳のめざす姿が別個に経過をもって存在し、複雑で分かりづらい部分があった。教育施策が保護者や児童生徒にも分かりやすいものとするために、今後はこの教育振興計画に則って進んでいくという周知の仕方をお願いしたい。

教育長：特に学校教育の部分では「15歳のめざす姿」を核として整理した。これを中心に据え、我々も整理しつつ、学校や保護者にわかりやすく伝えていきたい。

鈴木委員：内容が豊富で素晴らしい計画となった。子どもたちにとって「勉強＝楽しい」「学校＝行きたい」となるような、子どもたちの成長を後押しし、また先生方も一体となって盛り上げていける運用をお願いしたい。

教育長：子どもたちは学ぶ喜びを実感でき、そして教育関係者は意欲を持つ

て進んでいけるよう運用していきたい。

小野委員：充実した内容で、これを子どもたちが享受していけるのを非常にありがたく思う。町にとってこれからの10年は、直近では民設民営の認定こども園の設置、数年後には小学校をどうするか議論が浮上するなど、教育関係者のみならず一般町民にとっても変化の大きな期間となる。町がどういう考えを持って進んでいくのかは町民にとって大きな関心事となるので逐次丁寧な情報発信が必要。また、15歳のめざす姿という「ぶれない部分」とコロナ対応に代表される「臨機応変が必要な部分」が求められる。これを加味し時点修正しながらの運用を見据えていく必要がある。

教育長：柔軟な対応が日々求められる中でも貫徹すべき部分があり、またそれを踏まえ3年後に見直すべき部分も出てくる。町民への丁寧な説明と合わせ留意して取り組んで行きたい。

長谷委員：計画が皆さんの意見で洗練され、その作業に携われたことを嬉しく思う。学校が、点数を取る事だけでなく、子どもたちが互いを尊重でき、またそれぞれが自己肯定感をもって過ごせる場所となるような計画の運用であって欲しい。

教育長：当初は1年間の予定だった議論がコロナ禍で2年間となったが、期間が伸びたことで、教育について、教育委員の皆さんとじっくり話し合うことができたのも大きな成果だったと評価している。これを、計画を実行していく中で活かしていきたいと感じた。他に意見等あるか。

(意見なしの声)

教育長：では、その他意見はないようなので、議案第13号について、原案のとおり策定することでご異議ないか。

(異議なしの声)

教育長：異議がないので議案第13号については、原案のとおり決定する。

## 11 その他

(1) 次回(9月)定例会について

- ・ 9月24日(金)

(2) 今後の日程について

(3) その他

- ・ 教育委員・教育長研修会を受講して[柴田委員]

## 12 閉会 午後3時47分

上記記録の正確なることを認めここに署名する。

議事録署名人 教 育 長

1 番委員

2 番委員

3 番委員

4 番委員